「地方大学の振興と多極分散的な大学のあり方検討ＰＴ」の設置について

１　設置趣旨

我が国の高等教育機関への進学率は、おおむね上昇を続けており、2025 年には大学進学率及び大学進学者数が過去最高を更新した。一方、18 歳人口は減少を続け、2041 年には 80 万人を下回ることが見込まれている。

また、大学全体の定員充足率は約 102％である一方、定員充足率が 100％を下回る大学は 300 校を超えており、大学の再編を始めとした地域における大学のあり方は、今後、地域社会が直面する重要な課題である。

大学は、地域における「知の拠点」であるとともに、エッセンシャルワーカーを始めとした地域社会の担い手の育成に重要な役割を果たしている。このため、文教・スポーツ常任委員会の下に、地方大学の振興と多極分散的な大学のあり方検討ＰＴを設置し、地方の視点を十分に反映した大学振興策を検討する。

２　課題認識

○ 18 歳人口が減少する中、大学の定員未充足が拡大しており、地域における大学の再編等が今後課題となってくることが見込まれる。

○ 大学は、地域における「知の拠点」であり、エッセンシャルワーカーを始めとした地域社会の担い手の育成に重要な役割を果たしている。

○ 地方大学の振興や多極分散的な大学のあり方について、地方の視点を十分に反映した大学振興策を検討する必要がある。

３　主な検討テーマ

○ 地方大学の振興

○ 多極分散的な大学のあり方

４　活動内容

○ 参加知事及び有識者等による議論を踏まえ、地方大学の振興及び多極分散的な大学のあり方に関する報告書を取りまとめ、国への提言・要請活動を行う。

５　参加自治体（39 道県）

北海道、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、新潟県、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県、福井県、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県、広島県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

今年度の予定

・第１回　2026 年 12 月 16 日（水）　16:00～16:40（Web）
　　議題「論点の整理と今後の活動方針について」
・第２回　2027 年２月頃　議題「地方大学振興について」
・第３回　2027 年３月頃　議題「多極分散的な大学のあり方について」
・来年度　２回程度実施し、課題や論点の整理及び報告書・提言の取りまとめを行い、
　　夏の全国知事会議において、成果を報告し、国への提言を実施予定